



写真左: 提言書を提出する対馬医師会 主藤 久次会長

### 生命と尊厳を守るために

12月18日、対馬いづはら病院・中対馬病院跡利用計画検討委員会から、「新病院開設後の対馬いづはら病院跡地には医療施設と介護施設を併せた施設が必要である」との提言書が対馬市へ提出されました。



榎野さん 指導する桐谷由香先生  
写真提供: ミュージックスクールGEM

### 可能性は無限大!!

日本のトップレベルが集う「ショパン国際ピアノコンクールinASIA」。この檜舞台に厳原小学校3年の榎野詠珠さんが九州大会を勝ち抜き、全国大会に出場。見事入賞を果たしました。榎野さんは「全国のレベルを知り自分の目指すところが見えました。これからは先生を信じて今まで以上に練習に励みます」と今後の抱負を語ってくれました。

# おっ つしま ! な島です。 対馬 つしま Tsushima トピックス Topics



佐護会長

主藤公敏さんご夫妻

### 無事の献穀を記念して

昨年、対馬から76年ぶりの宮中献穀となった「豆穀の赤米」。12月12日、「対馬豆穀赤米神事を存続させる会(佐護哲也会長)」が募った支援金により記念の石碑を建立、除幕式が行われました。



### 祝 白寿 おめでとうございます

乙成 ツヨエさん(厳原町)大正3年12月25日生まれ

99歳を迎えられた乙成さんに市から褒状とお祝い金が贈られました。これからも長生きしてください。



### 災害時を想定して

12月15日、対馬市消防団厳原中央西分団員を中心に構成された団体「厳原中央西(山本博己代表)」が、「城下町たすけあい事業」を開催。有事の際、住民相互の協力体制を作るために「炊き出し」訓練を行いました。



受賞を喜ぶ上対馬漁協青壮年部  
築城さん 島谷さん 永尾さん



知事から表彰を受ける対馬あなご籠実行組合  
惣島さん 赤木さん



知事から表彰を受ける  
吉村さん

写真提供: 長崎県

写真提供: 長崎県

### “宝の海”を繋ぐのは俺たちだ!!

県内の若手漁業者が水産業に関する研究成果を発表する「青年漁業者交流会長崎県大会」において、上対馬町漁協青壮年部の築城慎一さんが最優秀賞を受賞されました。築城さんは3月に東京で行われる全国大会に出場します。また、地域の特色を活かした先進的な活動を展開し、成果を上げる漁業者・組織などを表彰する「ながさき水産業大賞・活力ある漁村づくり部門」で上対馬町漁協青壮年部が、「収益性の高い経営体づくり部門」団体の部で対馬あなご籠実行組合が、個人の部で美津島町今里の吉村元嗣さんがそれぞれ県知事賞を受賞されました。4部門のうち3部門に対馬が受賞するという快挙でした。



# Pickup!① 冬の対州路を駆け抜ける



12月8日、対馬の冬の風物詩：第53回対馬縦断駅伝大会が開催され、比田勝港から厳原港までの13区間：90.1 kmにわたり各チームが襷を繋ぎました。

結果は次のとおりです。 (敬称略)

- 【町体協】優勝：豊玉町      2位：美津島町      3位：上対馬町  
 【団 体】優勝：陸上自衛隊B      2位：陸上自衛隊A      3位：消防本部  
 【女 子】優勝：美津島町      2位：豊玉町      3位：上対馬町  
 【躍進賞】男子：陸上自衛隊B      女子：美津島町 (前年度記録を最も短縮したチーム)

## 【区間賞】

区 間	所 属	氏 名	記 録
1区 比田勝～佐須奈 10.4km	陸自B	松田 憲二	34分37秒
2区 佐須奈～佐護 8.2km	陸自A	堺 真樹	28分26秒
3区 佐護～樫滝 10.1km	陸自A	中山 公仁	34分00秒
4区 樫滝～三根 12.0km	陸自B	上谷 洋介	38分54秒
5区 三根～白嶽 2.5km	美津島町	栗屋 里緒菜	9分04秒
6区 白嶽～吉田 2.1km	美津島町	藤 美凧	6分56秒
7区 吉田～田 2.7km	美津島町	日高 璃子	10分32秒
8区 田～長田 2.5km	美津島町	中野 ちひろ	9分35秒
9区 長田～仁位 2.5km	豊玉町	佐伯 柚鳳	8分32秒
10区 仁位～浦底 6.0km	陸自A	池田 彌三郎	20分29秒
11区 浦底～玉調 10.6km	厳原町	阿比留 聖	38分20秒
12区 玉調～雞知 8.7km	陸自B	上平 久志	29分48秒
13区 雞知～厳原 11.8km	陸自A	宮原 和馬	38分42秒

## 訃報 対馬から世界へ羽ばたいた名スパイカー逝く

# Pickup!②

上対馬町大浦出身で、バレーボール日本代表として92年バルセロナ五輪に出場した大浦正文さんが12月20日、病のため亡くなりました。44歳でした。

大浦さんは比田勝小・中学校から長崎商業高等学校へ進学。その後サントリーへ入社し、19歳で日本代表に選出。身長188センチとバレーボール選手としては大きくはありませんでしたが、1メートルを超えるジャンプ力を活かし、バックアタックを放つスパイカーとして日本リーグ（現Vリーグ）で猛打賞を2度獲得。89・91年W杯、90年世界選手権に出場するなど国内トップ選手として活躍しました。

現役引退後は長崎県の教員となり、ユース日本代表監督などを歴任。平成21年に開催された“生涯スポーツフェスタINつしま”では、バレーボールコーチとして対馬の子どもたちに「世界で戦ってきた技術と理論」を伝えていただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



母校比田勝中学校では、在りし日の雄姿が後輩たちを見守っています



身振り手振りで子どもたちに指導する大浦さん